

防災を考えることは大切な存在を「想う」こと

近年、水害や土砂災害などの気象災害が全国各地で頻発しています。災害から命を守るためには、行政による防災・減災対策に加え、私たち一人一人も防災の意識を高めておくことが重要です。私たちの大切なものを奪い去る災害。改めて、私たちが今できる備えについて考えてみませんか。

災害時の気象情報が分かりやすくなりました！

5月から新たな防災気象情報の運用が始まり、警報・注意報などの防災気象情報に、避難行動の目安となる「レベル」が付くようになりました。例えば、これまでの「大雨警報」は「レベル3大雨警報」となります。

今回の変更について、前橋地方気象台で防災気象官を務める松井さんにお話を伺いました。

新たな防災気象情報

	河川氾濫 一級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打ち上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

出典：気象庁資料を基に群馬県作成

気象台の仕事とは？



前橋地方気象台
防災気象官
まつい よういち
松井 陽一さん

私たちがテレビやスマホで見る天気予報は、各地の気象台が発表しています。前橋地方気象台では県内17カ所に設置された地域気象観測所(アメダス)のデータなどを基に日々の天気予報や防災気象情報を提供しています。

Q. 新たな防災気象情報のポイントを教えてください！

A. ポイントは大きく分けて3つあります

- (1) 警報・注意報の情報に「レベル」が追加されました
- (2) 河川氾濫に関する情報の名称が変わりました(レベル5氾濫特別警報の新設など)
- (3) 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

警戒レベルと私たちがとるべき行動

これから秋にかけては、大雨による水害・土砂災害などが特に発生しやすい季節です。警戒レベルと状況に応じたとるべき行動を確認しておきましょう。



避難するタイミングは

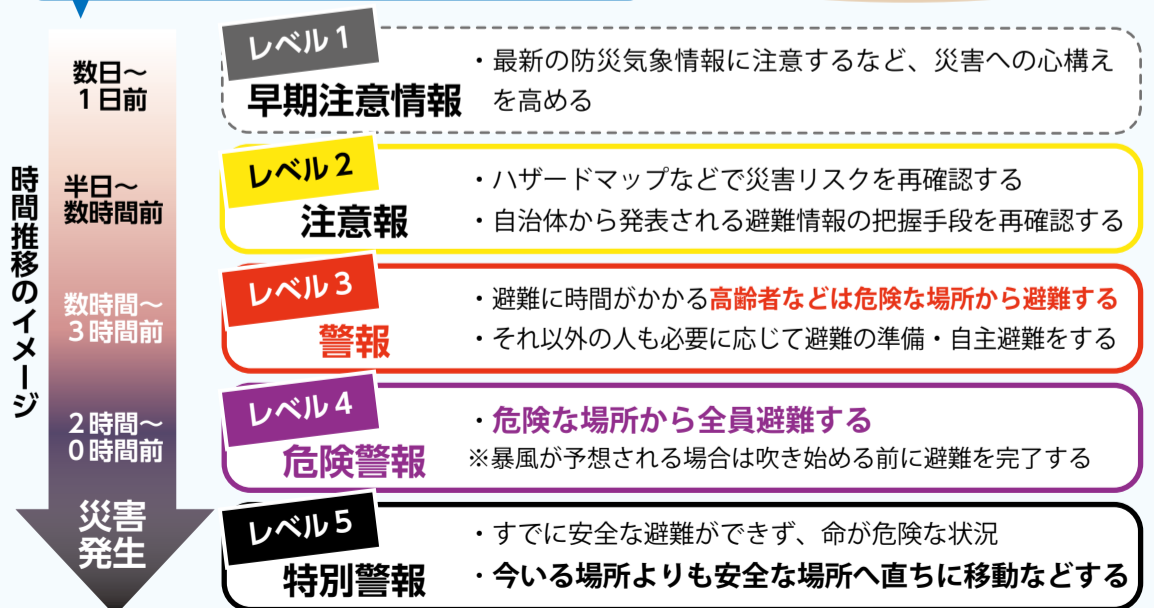


「レベル3」と「レベル4」

右図は、気象庁が発表する「防災気象情報」と警戒レベルに応じて、とるべき行動の例を時間の流れに沿って表したものです。

ただし、場合によってはレベル2からレベル4になるなど、必ずしも時間推移のイメージ通りでないことも考えられます。最新情報を確認して備えましょう。

表を参考に避難準備や避難をしましょう！



出典：気象庁資料を基に群馬県作成

▶ 防災・気象情報をまとめてチェック!

水害や土砂災害の発生時は、状況により避難場所が変わることもあるため、常に最新の情報を入手しましょう。また災害時は情報を得る手段が限られる場合もあります。複数の情報取得手段を想定しておきましょう。

県公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」

ハザードマップ 日頃からチェック
大雨や地震、噴火などの自然災害が発生した場合の被害想定や避難場所などさまざまな防災情報が掲載されています。

県防災ポータルサイト
市町村の防災気象情報や避難所開設情報などを一覧で確認することができます。

LINE

友だち追加はこちらからメニューを押して防災タブからチェック!

近くの避難所 日頃からチェック
「指定避難所マップ」で、日頃から最寄りの避難所などを確認しておきましょう。

河川防災情報サイト「かわみるぐんま」
河川の水位情報やライブカメラ画像の他、気象庁が公開している予測降雨量データなどを集約し、公開しています。

テレビ

リモコンの「dボタン」で防災気象情報を確認することができます。
県では災害時に群馬テレビのデータ放送で最新情報をお届けします。



ラジオ

FM

- ・NHK FM
- ・FM GUNMA

AM

- ・NHK AM
- ・高速道路情報



想定"外"を想定"内"にする訓練

県では市町村と連携し、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設*で、避難訓練の支援を行っています。3月に有料老人ホームで実施した避難訓練についてお話を伺いました。

*要配慮者利用施設…社会福祉施設や学校など、防災上の配慮を要する人が利用する施設のこと



有料老人ホームるうぶのやまとおる職員 角山 透さん

●避難訓練を実施してみてどのように感じましたか?

角山さん 初めて土砂災害の避難訓練を行い、警戒レベルごとに臨機応変な判断が必要だと感じました。

また避難所に到着してから車いす利用者の移動に想定以上の時間がかかることが分かりました。

川端さん 災害時は市役所職員として、避難所を運営する立場になりますが、今回の訓練に参加したことで避難者の立場で導線を考えることの大切さや課題に気づくことができました。



実施された避難訓練の様子



●災害への備えについて読者へメッセージがあれば教えてください

角山さん 避難訓練を行うことで緊急時の落ち着いた行動が可能になると感じました。もしもの時に備え、不安を少しでも解消しておくことが大切だと思います。

川端さん 「マイ・タイムライン」を作成するなど各家庭でも災害に備えておくことが大切です。

また晴れている日に、避難ルートを歩いて避難所まで行ってみることもお勧めしたいです。



みどり市役所職員 かわばた ひとし 川端 均さん

「マイ・タイムライン」を作成してみよう

「マイ・タイムライン」は住民一人一人の「オーダーメイド」の避難行動計画です。台風の接近などにより、災害発生のおそれがある場合に、家族構成や生活環境に合わせ、いつ、何をするのかをあらかじめ時系列で整理します。県公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」から作成することが可能です。今できる備えの一つとして避難行動計画を立ててみませんか?

マイ・タイムラインの作成はこちらから▼



作成方法をまとめた動画も公開中です

